

## 薬理パフォーマンス課題① 気管支喘息治療薬編

### 本時の学習目標

- ・薬理作用や薬物の体内動態を理解する
- ・薬物の効果や、身体への影響、効果に影響を及ぼす因子について理解する
- ・在宅・外来で起こりやすい事故について理解する

;

事例	自宅で適切な服薬管理ができるよう説明を行ないましょう。 (内服の例) 解熱鎮痛剤、降圧薬、抗血栓薬、気管支喘息治療薬など
----	---

学習活動	学習活動における具体的な評価規準	評価資料	評価基準			学習の視点
			A	B	C	
事例の患者さんが自宅で適切な服薬管理ができるよう、説明を行う。	患者が納得し、適切な内服管理行動がとれるような説明をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者への説明内容</li> <li>・患者への提示資料</li> <li>・質問への受け答え</li> <li>・RF</li> <li>・PF</li> </ul>	効果に影響を及ぼす様々な因子(生活行動、食事との関係、他の薬物との相互作用など)について説明し、患者の状態に合った方法で説明し、適切な方法について具体的に示している	薬物療法によって予測される主作用や有害作用の危険性について、体内動態に基づきながら説明している	薬物の使用目的を明確にし、その期待できる効果について、具体的に説明している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用目的                             <ul style="list-style-type: none"> <li>▶原因の除去</li> <li>▶症状の抑制</li> <li>▶予防</li> <li>▶診断</li> </ul> </li> <li>・アドヒアランス</li> <li>・医薬品情報</li> <li>・飲食物、嗜好品と医薬品の相互作用</li> <li>・薬理効果</li> <li>・体内動態</li> <li>・身体への影響</li> <li>・効果に影響を及ぼす因子</li> <li>・主作用や有害作用とその危険性</li> <li>・有害作用に対する適切な対応</li> <li>・在宅、外来での事故防止策</li> </ul>

テーマ	気管支喘息治療薬を処方された患者への服薬指導		
学年・人数	1 学年 11 名		
場面設定	気管支喘息の発作で外来受診した患者に吸入薬（〇〇〇）が処方された。自宅で適切な服薬管理ができるよう説明を行う場面。		
時間配分	全体の時間 45分	シミュレーション時間	5分
		導入(ブリーフィング)時間	15分
		デブリーフィング時間	25分
学習目標	1. 患者が納得し適切な内服管理行動がとれるような説明ができる。		
患者情報	<p>氏名： 島津 海美  年齢： 11歳  性別： 女性  キーパーソン：母親  家族構成：両親と弟との4暮らし  診断：気管支喘息  背景：</p> <p>4歳頃に小児喘息と診断されていた。3年ほど発作もなく軽快していたが上気道炎をきっかけに喘息の症状が現れた。医師の診察の結果、気管支喘息と診断された。</p>		
シミュレーションの課題	気管支喘息発作で外来受診した、島津さんにステロイド吸入薬が処方された。〇〇〇を初めて使用することになった島津さんに自宅で適切な管理ができるよう説明を行ってください。		
事前学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾患</li> <li>・薬の使用目的（原因の除去・症状の抑制・予防・診断）</li> <li>・アドヒアランス</li> <li>・医薬品情報</li> <li>・飲食物、嗜好品と医薬品の相互作用</li> <li>・薬理効果</li> <li>・体内動態</li> <li>・身体への影響</li> <li>・効果に影響を及ぼす因子</li> <li>・主作用や有害作用とその危険性</li> <li>・有害作用に対する適切な対応</li> <li>・在宅、外来での事故防止策</li> </ul>		